

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 京都市図書館の運営について

図書館は、市民の皆様が生涯学習に取り組まれるうえで、最も基本的な役割を担う施設であり、本市では、昭和56年4月に中央図書館を設置して以降、市民の皆様により身近なところで御利用いただけるよう、現在20の図書館を開設しております。

また、遠隔等のため図書館に足を運ぶことが困難な地域を中心に、「移動図書館こじか号」を運行し、図書館サービスの充実を図ってまいりました。

令和元年度には、全図書館で延べ380万人の方に御来館いただき、759万冊の本の貸出がありました。

### 図書館の収入と支出

総額 16.7 億円

#### <支出>

利用者 1 人当たりの運営経費 440 円

管理・運営費 350 円	職員人件費 40 円	賃借料 10 円	その他 40 円
-----------------	---------------	-------------	-------------

※こどもみらい館子育て図書館除く。

#### <収入>

440 円 (100%)  
市民の税金で負担 (公費で負担)

〔 いずれも概数  
10 円単位で四捨五入 〕

- 施設を利用しない方も含めた市民の負担 (公費負担) により、運営に当たって利用者 1 人当たり 440 円のコストがかかっている施設を無料でご利用いただいております。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様になめていただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。

京都市教育委員会事務局 生涯学習部施設運営担当  
[電話 801-8822]